

環境国際シンポジウム 2005 in たじみ
 京都議定書発効！ - 今わたしたちが行うこと -

- 1 名称 エコアジア 2005 関連事業
「環境国際シンポジウム 2005 in たじみ」
- 2 主催等 主催 岐阜県・環境省 後援 多治見市・瑞浪市・土岐市・笠原町
協力 財団法人地球環境戦略研究機関
- 3 日時 平成 17 年 6 月 3 日(金) 13:00~15:00
- 4 場所 セラミックパーク MINO (1 階国際会議場)
多治見市東町 4-2-5
- 5 目的 京都議定書の発効を契機として、地球温暖化対策が自ら取り組むべき課題であることを市民一人ひとりに認識してもらい、行動に反映してもらうことが重要である。このため、本シンポジウムは、国内および海外の有識者を招いて、市民一人ひとりができることについて、スピーチ及びパネル・ディスカッションを行うことにより、市民の意識啓発に役立てることを目的とする。

6 参加者 一般聴講者を公募 * 募集については終了しています。

7 内容(案)

13:00-13:10 開会

開会挨拶 棚橋 普 岐阜県副知事

来賓挨拶 森島 昭夫 (財)地球環境戦略研究機関理事長

13:10-13:40 キーノートスピーチ

「京都議定書の発効の意義と行動の必要性」

竹本 和彦(日本) 環境省大臣官房審議官

「南オーストラリアにおける温暖化防止への取り組み」

バーバラ・ハーディー(オーストラリア)前豪州自然遺産委員長

13:40-15:00 パネル・ディスカッション

テーマ: 京都議定書発効! - 今、わたしたちが行うこと -

コーディネーター:

・浜中 裕徳(日本) 慶應義塾大学環境情報学部教授

パネリスト(順不同):

・エミル・サリム(インドネシア)インドネシア生物多様性財団理事長

・竹内 ゆみ子(日本)国際環境 NGO ソムニード事務局長

・トンロイ・オンチャン(タイ)メコン環境資源研究所所長

・西寺 雅也(日本)多治見市長

15:00 閉会

8 その他 日英同時通訳あり